

医学研究者を志す学生を対象とした 研究者養成コース

趣 旨

医学部出身者には人体生物学を系統的に学んだ者として生命科学・医学研究において果たすべき大きな役割があります。将来のリーダー的研究者となるためには、医学部在学中からリサーチマインドを強力に養い、基本的な知識、考え方、技術を習得しておくことが大切です。そこで、医学科カリキュラムに加えて、「研究者養成コース」を平成23年度から開始し、医学研究者の育成を図っております。

研究者養成コースの目的

本コースは医学部医学科 → 大学院の一体型カリキュラムとして、特に基礎医学研究者養成を中心とした専門教育を行います。

研究者養成コースの概要

- 医学部在籍中は配属先の基礎系分野において、授業時間外を利用して研究を実践します。さらに定期的（2週間に1回または1月に1回）に分野で開催されるリサーチミーティングおよび研究者養成コースミーティングがあります。
- 在籍中は月10万円の奨学金貸与（返還免除制度有）を受けることができます。（MD-PhDコースの場合は月8万円（ただし返済義務無し））
- 学部卒業後直ちに大学院に進学するコースと、まずM4を修了し、引き続きMD-PhDコースに入り、その後復学後の学年に戻るコースのいずれも対象とします。出願時M4又はM5であれば出願可能です。（学部→大学院、または大学院→学部）なお、学部卒業後2年間の臨床研修終了後直ちに大学院に進学した場合も、学部卒から直ちに大学院に進学するものとみなします。
- 申請にはプロジェクトセメスターなどの基礎研究を関連分野で半年以上行っていることが望ましい。
- 大学院入学試験の筆記試験は免除されます。ただし、教授推薦を必要とし、面接が行われます。研究者養成コース対象の大学院入学試験に関しては、例年11月下旬に願書を受け付けています。詳細は、入試課大学院入試係（mail:nyu-grad-02.adm@tmd.ac.jp）までお尋ねください。
- 大学院の所属研究室は本学医歯学総合研究科基礎系（研究所も含む）または日本医科大学大学院医学研究科基礎系とします。
- 大学院では原則3年で学位が取得できるよう教育研究指導されます。
- コース終了後は研究者として医学研究を継続することが義務づけられます。（研究機関は国内外を問いません。）
- 奨学金貸与年数（MD-PhDコース期間を除く）と同年数以上の研究を行うことが、奨学金の返済免除の要件となります。
- 研究期間が貸与年数に満たない場合は、不足分を返還しなければなりません。また、基礎研究のエフォートが50%に達しないと判断された場合も返還しなければなりません。コース修了後は毎年研究報告書の提出と研究報告会をもって研究継続の実態についての評価を受けます。ただし、初期臨床研修を受ける場合はその間返済猶予期間となりますが、研修後は直ちに研究を再開しなければなりません。出産、育児休職によって研究を中断する場合も返済は猶予されます。
- コース終了後に本学医学部医学科に属する分野において研究を継続する場合は、最長3年間の特任助教のポストを用意しています（給与は日本学術振興会特別研究員（PD）相当を支給）。なおMD-PhDコース修了後、この制度を利用することもできます。

2023年度 研究者養成コース募集要項

1) 募集人員	4名
2) コース開始時期	2023年4月
3) 申請資格	① 医学部医学科の第4学年に取得すべき授業科目を履修し、そのすべての単位を修得し、2023年3月に第4学年または第5学年を修了見込みの者 ② 大学院医歯学総合研究科MD-PhDコースに在学している者で、かつ2023年3月までに同コースを修了し、2023年4月に医学部医学科第5学年または第6学年に在学している者。
4) 申請期間	2023年2月6日（月）から2023年2月17日（金）
5) 提出書類	① 研究者養成コース申請書（様式1） ② 成績証明書（応募資格②で申請する場合は、学部と大学院いずれも提出） ③ 志望理由書（次の項目についてA4版用紙1枚に記載すること。） ・ 関心を持つ研究分野 ・ 研究計画 ・ 将来の目標 以上の書類を一括して医学教務係に提出してください。
6) 選考方法	申請書類及び面接により行います。
7) 面接日時	2023年2月27日（月）午後6時 ※日程は変更になる可能性があります。
8) 選考結果発表	2023年3月16日（木）午後1時 3号館2階医学科掲示板

問い合わせ先

本コースの内容や
カリキュラム等の相談について

国際健康推進医学 藤原武男 教授

TEL : 03-5803-5187

Mail : fujiwara.hlth@tmd.ac.jp

申請手続き等について

医学部 医学教務係

TEL : 03-5803-5120

Mail : gakumu1@ml.tmd.ac.jp

研究者養成コース 受入分野

◎医学系

分野名	指導教員
細胞生物学	中 田 隆 夫
臨床解剖学	秋 田 恵 一
神経機能形態学	寺 田 純 雄
システム神経生理学	杉 原 泉
細胞生理学	磯 村 宜 和
病態代謝解析学	(選 考 中)
人体病理学	大 橋 健 一
ウイルス制御学	(選 考 中)
分子腫瘍医学	田 中 真 二
国際健康推進医学	藤 原 武 男
寄生虫学・熱帯医学	石 野 智 子
法医学	上 村 公 一
免疫アレルギー学	佐 藤 荘
包括病理学	(選 考 中)
政策科学	岡 田 就 将
システム発生・再生医学	浅 原 弘 嗣
国際保健医療事業開発学	中 村 桂 子
臨床統計学	平 川 晃 弘

◎歯学系

分野名	指導教員
口腔病理学	池 田 通
細菌感染制御学	鈴 木 敏 彦
分子免疫学	東 み ゆ き
先端材料評価学	宇 尾 基 弘
口腔顎顔面解剖学	岩 永 譲
認知神経生物学	上 阪 直 史
分子発生学	井 関 祥 子
分子細胞機能学	(選 考 中)
硬組織薬理学	(選 考 中)
病態生化学	渡 部 徹 郎
分子情報伝達学	中 島 友 紀
法歯学	櫻 田 宏 一
医療経済学	川 湊 孝 一

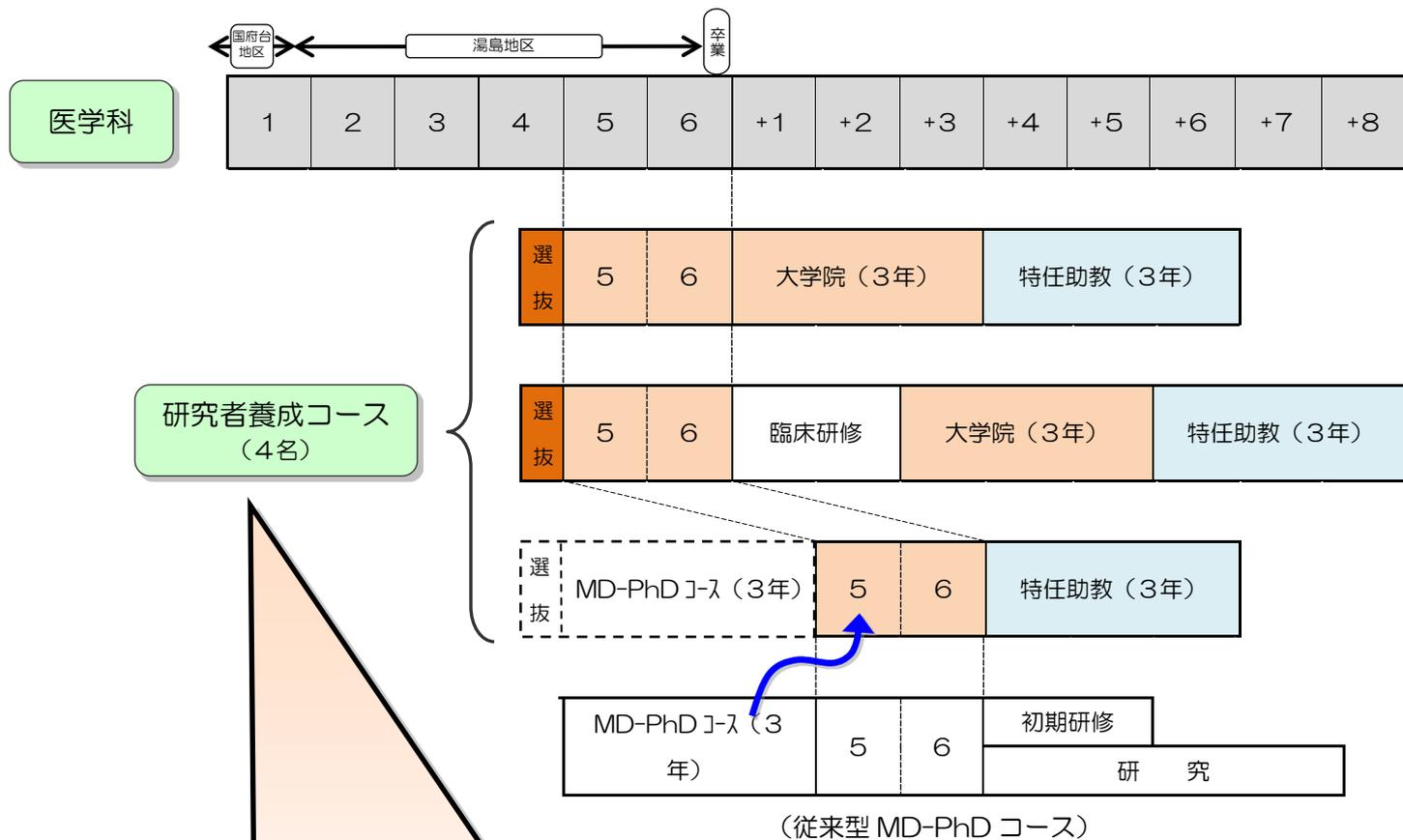
◎生体材料工学研究所

分野名	指導教員
金属生体材料学	(選 考 中)
無機生体材料学	川 下 将 一
有機生体材料学	(選 考 中)
センサ医工学	三 林 浩 二
情報医工学	中 島 義 和
精密医工学	池 内 真 志
診断治療システム医工学	梶 弘 和
物質医工学	岸 田 晶 夫
薬化学	影 近 弘 之
生命有機化学	細 谷 孝 充
メディシナルケミストリー	玉 村 啓 和
生命機能医学	位 高 啓 史

◎難治疾患研究所

分野名	指導教員
幹細胞医学	(選 考 中)
神経病理学	岡 澤 均
生体防御学	樽 木 俊 聡
病態細胞生物学	清 水 重 臣
分子代謝医学	(選 考 中)
幹細胞制御	田 賀 哲 也
医化学	瀬 川 勝 盛
遺伝制御学	(選 考 中)
分子細胞生物学	澁 谷 浩 司
発生再生生物学	仁 科 博 史
免疫学	(選 考 中)
先端医工学	内 田 智 士
計算システム生物学	島 村 徹 平
分子構造情報学	伊 藤 暢 聡
分子神経科学	田 中 光 一
分子細胞循環器学	古 川 哲 史
分子細胞遺伝学	(選 考 中)
遺伝子応用医学	(選 考 中)
分子疫学	(選 考 中)
ゲノム機能情報	二 階 堂 愛
ゲノム機能多様性	高 地 雄 太
脂質生物学	佐 々 木 雄 彦
細胞分子医学	佐 々 木 純 子

研究者養成コース



研究者養成コース
(4名)

活動

- M4 プロセメ後に選抜（応募、面接）
- 医学科、歯学科基礎系分野、難治疾患研究所、生体材料工学研究所で研究を行う
- 大学院は医歯学総合研究科医系または日本医科大学大学院医学研究科基礎系
- MD-PhD コースを利用しても良い

メリット

- 10万円の奨学金貸与（返還免除については下記参照）
- 大学院入試筆記試験免除
- 大学院は原則3年で学位を取得
- 本学医学部医学科に属する分野で研究を継続する場合、大学院修了後に特任助教枠（最長3年）を得られる

奨学金返済免除等要件

- 大学院修了後、貸与期間の同数年の研究歴
（研究が主体であることが必要）
- 学部卒後2年間の臨床研修期間は貸与停止、ただし大学院に戻る事が条件
- 臨床研修期間、出産・育児期間は返済を猶予

